

白梅病院	
<p><b>【地域において今後担うべき役割】</b></p> <p>主な役割としては、地域医療の後方支援として下記の2点を担っている。</p> <p>① 急性期医療を担う病院等を後方支援。 急性期型病院から、急性期治療を終え、一定程度状態が安定した患者であるが、医療依存度が高く(胃瘻、腎瘻、喀痰吸引、インスリン注射、経鼻胃管、点滴、酸素投与など)、要介護状態である患者を受け入れる。</p> <p>② 自宅や介護施設等における療養の継続を後方支援。 自宅や介護施設等から、一般的な病気(肺炎や尿路感染症など)や看取りの患者を受け入れる。 その他、慢性期のリハビリ機能の充実と、地域に貢献する活動として、地域住民への健康教室の開催など役割を担っている。 以上の役割を維持継続していく方向性である。</p>	
<p><b>【主な質疑】</b></p> <p>大腸カメラ、胃カメラなど急性期治療もされているが、当然、老人が多いのでそういうのもあると思うが、全部まるめだが、経営的にそれでも十分やっていける感じか。</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>すべてができるというわけではないが、できる範囲というのが実情。人工呼吸器は維持・管理がかなり難しいが、それ以外の酸素治療であったりとか、点滴治療等というのはできる範囲内で行っている。</p>
<p>医療療養病床の1の要件というのは、かなり厳しくなりつつあるが、今後病床の類型にも関わってくると思うが、そこはどのようにお考えか。</p>	<p>療養型入院を算定しており、医療度が8割程度、重篤な方が多い。さらに療養病棟のもう一つの目的に、難病に対する対応も求められているので、難病疾患の患者についても併せてみさせていただいている。</p>
<p>十分検討されたと思うが、転換することによって将来の経営的なメリット、デメリットあたりを含めて、また十分それで経営的に成り立っていくことが非常に大切だと思うが、そのあたりは十分検討されていると思うか。</p>	<p>今回、介護医療院という形を選んだが、現在、医療依存度もあわせて、要介護度も重篤な方が多いという実状があるので、病床を減らすことはやはり難しいだろうと判断した。ただ、お話があったように、医療療養1というのは、重篤な方が8割ということなので、それ自体では運営が難しいということで、介護医療院のほうで、医療依存度は高いけれども、要介護の方をメインに介護医療院のほうでみて、そのニーズ自体は、当分の間、要望としては高いと考えている。いずれは人口減に伴い、私達の病院に限らず、この圏域で次第次第に病床自体は変わっていくのではないかなと思う。</p>
水俣市立明水園	
<p><b>【地域において今後担うべき役割】</b></p> <p>本体事業以外では、短期入所事業(福祉型・併設型)、日中一時支援事業を行っている。 短期入所事業では、障害支援区分1以上である障害児、知的障害者及び身体障害者の方を受け入れている。また、日中一時支援事業については、対象者は短期入所と同じであるが、こちらは日帰りの利用となる。 以上のことから、医療・福祉サービスを提供していますが、今後も継続していきたいと考えている。</p>	
<p><b>【主な質疑】</b></p> <p>現状で医療施設、今後も医療施設ということでよいか。</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>今後も医療施設としてやっていきたいと思う。</p>
<p>介護のほうへの転換というのは考えていないのか。</p>	<p>今のところ障害福祉サービス事業所になっており、医療でやっていきたい。</p>
<p>認定患者が少なくなっても、10年後、20年後、そういう場合でも満床でいけるのか、その見込についてはどうか。</p>	<p>言われたように、20年後となるとかなり少なくなっている。水俣市の施設なので、水俣市と協議しながら、今後の方向性を定めていきたい。</p>
水俣協立病院	
<p><b>【地域において今後担うべき役割】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、さらに高齢者が増加する中で、地域包括ケア病床単独の病院として、①急性期からの受け入れ、②在宅生活療養復帰支援、③緊急時の受け入れ、の3つの機能を発揮し、看取りも含めた在宅での生活を支える役割を果たしていく。</li> <li>・認知症対応の人材育成と、認知症患者が安心して暮らしていけるよう行政や地域の医療機関・介護事業所との連携を強化していく。</li> </ul>	
<p><b>【主な質疑】</b></p> <p>今後も透析患者が増えると思うが、介護医療院になってどこか受け入れるところはあるのか、今後、増やす予定はあるのか。</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>増やす予定はないが、20名位の患者は受け入れられる。長期入院は60日となっているが、透析の方はそれだけでは済まない方もいるので、そういう方に関しては長期でみるようにしている。もし必要があれば私達のところでみさせていただくということで、可能になると思う。</p>
<p>無料低額診療事業というのは、大体どういうものか。</p>	<p>社会福祉法に基づき、経済的な理由によって必要な医療を受けることが制限されないよう、無料又は低額な料金で行う事業。低所得者、ホームレスの方々が医療機関に受診した時に、無料にしたり、もしくは低額にするというのが、可能な制度。無料にする基準は、その医療機関によって決めることができる。また、その期間は、診療を開始して6カ月となる。</p>
淵上病院	
<p><b>【地域において今後担うべき役割】</b></p> <p>当院は、整形外科、内科医を配置し、慢性期の患者受け入れを中心とした医療の提供を実施している。また、平成29年7月1日には病床転換を図り、介護療養型介護老人保健施設を併設する病院である。 老人保健施設併設の病院として、中間施設の役割を担いリハビリを中心としながら、慢性的な病気を持った患者の在宅復帰支援を展開してきた。 現在、急性期の医療からの回復した医療ニーズに高い要介護高齢者が急増している現状があるが、これらの患者の受け入れ先が不足し、急性期医療を提供している病院も満床状態で、治療を終了しても行き先がないために、退院ができず、病院本来のサービスの提供が実施できない問題の生じている。これらの現状を踏まえ、様々な患者ニーズに対応できるように、職員全体で努力しながら、病院として培ってきた医療技術・知識を生かし、看取り介護も含めての患者受け皿として、これらのニーズに継続して対応していくことが当院が地域においてもっとも担うべき役割と考える。</p>	
<p><b>【主な質疑】</b></p> <p>平成30年度病床機能報告の2025年では、療養病床のまま35床を介護保健施設等へ移行とあるが、介護医療院とか、現在の介護療養料型介護保険施設のほうへの移行か。</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>介護医療院へ変える。</p>